

竹田市
総合戦略基本目標・施策KPI達成状況（H30年度）

基本的方向 施策方針 個別目標 等	具体的施策 基本的施策 実施事業 等	基本目標・重要業績評価指標（KPI）										参 考			
		指 標 名	基準値	基準年度	基礎データ	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値	目標年度				
						実績値	実績値	実績値	実績値						
基本目標Ⅰ ひとを大事にし、郷に生きる人間力を育む															
1	数値目標	若い世代の結婚・子育ての希望の実現	合計特殊出生率	1.63	21～25平均	大分県のHPより		1.609%	1.633%	1.694%	1.67	32	※最終目標は37年度（1.80） H30実績はH25～29数値が根拠 H30大分県平均1.59%		
2		健康寿命	健康寿命大分県一			大分県のHPより		男性10位 女性8位	男性6位 女性5位	男性13位 女性5位	2位	31	※最終目標は36年度（県内1位） 市町村別お達者年齢（5年平均）順位		
3	（1）結婚から子育てまで切れ目のないきめ細かい支援	①結婚活動の支援	男性未婚率（25～49歳）	41.4%	22	国調	42.5%	-	-	-	県と同水準	32	※H22大分県平均37.3% ※H27大分県平均37.2% H29年度婚活webサイト開設		
4		②保育サービスの充実	病児保育施設利用者数	12人	26	社会福祉課	27人	13人	35人	43人	1061人	31	・病児保育事業登録児童数 212名（内H30新規登録22名）		
5		③地域ぐるみで子育て一番宣言	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	就学前	65.0%	25	社会福祉課 子ども・子育て支援事業計画の実態調査	65.7%	-	-	74.2%	75.0%	31	・平成28年度 直入こども園開設 ・子育て支援事業 出張ひろば 開設 ・児童クラブと子ども教室の一体的提供 ・28年度一体的提供（学校内）2カ所	
6		④子育てと仕事の両立支援		就学後	72.6%	25		85.7%	-	-	74.2%				
7		父親と母親の子育てに関する役割分担は同等と感じる人の割合		就学前母	48.4%	25		22.6%	-	-	59.9%	60.0%	31	・「竹田っすこやか広場」において「プレママ・プレパパ」スクールの実施（H28 7名） ・子育て応援券交付 87冊（協力企業53社） ・子育て支援員、放課後児童クラブ支援員等人材育成	
8				就学前父	50.5%	25		20.7%	-	-	52.6%				
9				就学児母	55.6%	25		13.3%	-	-	56.8%				
10				就学児父	46.5%	25		21.4%	-	-	52.8%				
11		（2）夢に向かって挑戦する子どもの育成	①竹田郷土学の紐とき事業	児童生徒の学力（全国学力状況調査、国・算・数のA知識・B活用の正答率合計：全国比）	小学校	+13.7		26	県教委HPより	+3.8	-5.6	+5.2	-11.4	+16.7	H30年度 全国学力・学習状況調査結果
12			②竹田市教育のまちTOP<SUN3>運動の推進と実践 ③地域とともにある学校づくり		中学校	+14.4		26	県教委HPより	+4.0	+15.4	+8.7	+9.7	+17.4	H30年度 全国学力・学習状況調査結果
13	（3）誰もが安心して暮らせる地域医療体制の確立	①安心して子育て（妊娠・出産）できる環境づくり	居住地域における子育て環境や支援に対し満足している人の割合（保護者調査）	就学前	27.9%	25		社会福祉課 子ども・子育て支援事業計画の実態調査	-	-	-	34.0%	50.0%	31	
14		②地域医療体制の整備・充実	地域医療体制の整備・充実（地域医療を担う新たな医師の確保）	就学児	29.1%	25			-	-	-	32.6%			
15					0	26	保健所に確認	0	1	-	-	1	31	H28.4耳鼻咽喉科新規開業	
16	（4）健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり	①健康づくり組織の育成と支援	特定健診受診率（国保）	48.6%	26	保険課より	50.7%	49.2%	49.0%	-	60.0%	31	H30年度49.7%（未確定数値）		
17		②健康増進と予防活動の充実	健康寿命の延伸	男性	79.03歳	23	保健所データ（県HPより）	78.43歳	78.53歳	79.22歳	78.77歳	80.15歳	31	25～29年数値で算出、お達者年齢	
18		③スポーツ・レクリエーション活動の充実		女性	83.04歳	23	保健所データ（県HPより）	83.03歳	83.65歳	84.34歳	84.42歳	84.07歳	31	25～29年数値で算出、お達者年齢	
19	（5）安心と充実のシニアライフの支援	①元気な高齢者の活躍の場づくり	介護認定を受けていない高齢者割合	77.6%	26	高齢者福祉課より	79.8%	80.8%	80.8%	80.8%	80.0%	31	H31.3.31現在 65歳以上人口9,955人、要介護認定者数1,908人		
20		②高齢者が自立した生活を継続できる地域づくり	サロン（おしゃべり・生きがい系）の数	158か所	26	社協、高齢者福祉課より	-	156か所	131か所	152か所	170か所	31			
21				高齢者安心ネットワークの登録者数	61人	26	高齢者福祉課より	126人	169人	205人	162人	300人	31		

基本的方向 施策方針 個別目標 等	具体的施策 基本的施策 実施事業 等	基本目標・重要業績評価指標 (KPI)									参 考	
		指 標 名	基準値	基準年度	基礎データ	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値		目標年度
						実績値	実績値	実績値	実績値			

基本目標Ⅱ 技の集積と地域経営力を高め、しごとを創出する

22	数値目標	就業人口	就業人口の確保	12,420人	22	国調	11,424人	-	-	-	9,000人	32	H22基礎数値から戦略未実施の場合の推計H32、8,450人
23	(1) 竹田クリエイティブ・シティ構想の実践(新産業創出)	①「創造的人材」の集積・拠点整備	起業・創業人数	1人	26	商工観光課	6人	※16人	※22人	※23人	55人	31	※累計人数
		②TSG「竹田総合学院」構想の実践											
		③民間や大学との連携による起業・創業の推進											
24	(2) 地域特性にあった企業の育成・集積	①ヘルスケア産業の創出と振興	誘致企業数	1社	26	企画情報課	0	0	0	0	10社	31	
		②地域資源を活かした産業振興	空き店舗の利活用	2件	26	商工観光課	2件	※4件	※9件	※10件	10件	31	※累計件数 H27.スローライフカフェ(城下町) H29.Nanohana H27.豊洲酒販(城下町) H29.Iapis Iazuli H28.英会話教室(玉来) H29.「がんば」(お好み焼き) H28.ペーカリーカフェ(城下町) H29.カーライフサポート藤野屋 H29.野ぶどうと虹 H30めはんや
		③商工業の活性化											
26	(3) 農林畜産業の振興による竹田ブランドの確立	①新規就農者の育成支援	農業の付加価値額全国順位	43位	24	e-Stat	51位	53位	62位	-	35位	31	東日本大震災の被害を受けた関東以北の市町村の農地が回復することにより、農業産出額が増え相対的に順位が下がった。
		②企業との連携	新規・親元就農者	95人	26	農政課より	23人	※49人 26人	※76人 27人	※103人 27人	100	31	※累計人数 H30実績(雇用7名・自営20名) 計27名 竹 8名(内自営5名)親元就農支援給付金1名 荻 10名(内自営8名) " 2名 久 5名(内自営3名) 直 4名(内自営0名) 野菜14人 畜産9名 水稲2名 藍2名
		③農商工連携によるブランド化の推進											
28	(4) 若者や女性、高齢者の雇用機会の創出	①若者の就労支援	この戦略で高性能機械を導入した支援企業の売上伸び率	0	26	Win with familyより	-	-	-	3.6%	5.0%	31	H28地方創生加速化交付金(1件) ※28年事業機械導入(Win With family様) 29年度からの売り上げの伸び率。
		②ライフスタイルに柔軟に対応した労働環境の整備											
	(5) 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入拡大と地域新電力事業参加による雇用の創設	①地域資源を活用した発電事業による産業の創出											
		②地域新電力事業の参加に伴う市民サービス及び雇用の創出											

基本的方向 施策方針 個別目標 等	具体的施策 基本的施策 実施事業 等	基本目標・重要業績評価指標 (KPI)										参 考
		指 標 名	基準値	基準年度	基礎データ	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値	目標年度	
						実績値	実績値	実績値	実績値			

基本目標Ⅲ 地域力を輝かせて農村回帰の流れを加速させる

29	数値目標	移住者数	移住者施策を活用した移住者数			「竹田市農村回帰実証センターの取り組み」より	13世帯	※27世帯	※47世帯	※70世帯	100世帯	31	※累計数 4カ年70世帯 移住者数合計 132名
30	(1) 若い世代 (子育て世代)の 定住促進	①子育てしやすい住環境の整備	住宅分譲地の整備	0	26	建設課聞き取り	-	-	-	3区画	45区画	31	H30年度 3区画(七里) H31年度 35区画(旧竹中グラウンド) 予定
31		②竹田の良さを活かした魅力的な 宅地分譲の促進	移住世帯	0	26	「竹田市農村回帰実証センターの取り組み」より	4世帯	※6世帯	※10世帯	※12世帯	20世帯	31	※累計数 子どもを伴った移住世帯
32	(2) 農村回帰の 推進	①農村回帰支援体制の充実	空き家バンクへの登録者数	629人	22~26	「竹田市農村回帰実証センターの取り組み」より	108人	※227人	※345人	※434人	650人	31	※累計人数 H27.108人 H28.119人 H29.118人 H30.89人
33		②既存ストック(空き家等)の有効 活用	空き家バンクへの登録件数	25件	22~26	「竹田市農村回帰実証センターの取り組み」より	19件	※30件	※88件	※104件	100件	31	※累計件数 H27.19件 H28.11件 H29.55件 H30.16件
34	(3) 温泉資源活 用による新たな観 光戦略と滞在型観 光交流の促進	①湯治文化を活かした保養温泉地 づくり	観光客数	337万人	26	観光課 動態調査	339万人	270万人	281万人	284万人	330万人	31	
35		②地域ごとのニーズを捉え、多様 なツアーリズムによる交流機会の創 出	観光客数のうち宿泊客の占める割合	8.60%	22~26	観光課 動態調査	7.45%	8.08%	7.72%	8.30%	2ポイント アップ	31	
36		③インバウンド(海外誘客)への対 応											
37	(4) 竹田ブラン ドを高める情報戦 略	①魅力的な情報コンテンツづくり	ふるさと納税件数(決算統計)	30件	26	実績	833	1,226件	2,664件	24,036件	1,000件	31	H27寄付額24,706,365円 H29年度45,044,010円 H28寄付額34,874,000円 H30年度237,802,278円
			竹田に興味を持った人の数(市HPアク セス数)	517,425件	26	実績	485,551件	501,761件	511,924件	533,485件	550,000件	31	

基本目標Ⅳ コンパクトシティを構築し、集落機能(暮らし力)を高める

38	数値目標	政策による住宅確保	住宅確保			建設課聞き取り	-	-	28戸	-	20戸	31	※最終目標は36年度(30戸) 竹田町18戸(3LDK10戸 1LDK8戸) 荻町馬場10戸(3LDK6戸 1LDK4戸)
39		小さな拠点設置	小さな拠点(くらサポ・寄合場所) 設置	暮らサポ 5か所	26		(暮)6 5か所	(暮) 7か所	(暮) 7か所	(暮) 7か所	19校区	36	・暮らサポの拠点(事務所数)7箇所~凡そ中学校区規模 ・地区公民館や分館での拠点活動
40	(1) 竹田市版コ ンパクトシティの 推進	①各地域ならではのコンパクトシ ティの構築	中心市街地内観光客数(6観光施設)	18.8万人	25	観光課・文化財課・ 生涯学習課聞き取り	22.1万人	14.7万人	17.1万人	17.1万人	21万人	31	
41		②城下町再生プロジェクトの推進	中心市街地内居住人口(20自治会)	1,269人	26	住基	1,210人	1,211人	1,190人	1,136人	1,274人	31	世帯数8世帯増 人口21人減
42		③中心市街地の活性化	竹田市総合文化ホール利用件数	1,547件	23	総合文化 ホールより	-	-	-	703件	1,600件	31	24年度から文化会館は休館。オープンは30年12月。
43			竹田市総合文化ホール市民スタッフ会 議登録者	0人	23	総合文化 ホールより	-	-	-	37人	25人	31	24年度から文化会館は休館。オープンは30年12月。
44	(2) 「小さな拠 点」の形成	①暮らしのサポートセンター事業の 推進	小さな拠点の設置	5か所	26	実績値	※8か所	※15か所	※16か所	※17か所	新規10か所 ※15か所	31	暮らサポの広場事業の実施箇所数
45		②道の駅機能拠点強化事業の推 進	サポーターの養成	158人	26	実績値	-	271人	229人	183人	300人	31	
46			道の駅直売所利用者数	396,171人	26	実績 レジ通過者	392,620人	351,775人	370,175人	432,933人	416,000人	31	
47	(3) 連携中枢都 市圏による広域連 携と中心部・周辺 部のネットワーク 化の推進	①大分都市広域圏・連携中枢都市 圏による経済・生活圏の向上	コミュニティバス・寄合タクシーの利用 者	24,191人	26	企画情報課	22,088人	21,751人	19,921人	15,326人	25,000人	31	
48		②広域交通ネットワークの推進	市ケーブルネットワークへの加入率	74%	26	情報課推進室 聞き取り	76%	77.8%	78.5%	78.3%	80%	31	
49		③地域公共交通の利用促進											
49	(4) 地域コミュ ニティの再構築	①集落機能維持の仕組みの再構 築	救命講習受講者数	9648	22~26	実績値	2,576人	※4,271人	※5,613人	16,693人	10,000人	31	防災士の育成(延べ登録者数) 防災士総数 212名 H26:30名 H27:22名 H28:7名 H29:21名
		②地域防災機能の強化											自治会数 H26:361 H27:359 H28:357 H29:356 H30:355 H29 防火水槽2基設置